

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	一級・二級建築士・二級建築施工管理技士を目指し、その資格・技術を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	建築デザイン科	2年(昼間部)	2130単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学大臣告示25号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1320単位時間 (又は単位)	240単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1320単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	10人	2人	9人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 建設業 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 25% ■その他(任意) (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報)			主な資格・検定	二級建築士 二級建築施工管理技士	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 11.1%</p> <p>平成28年4月1日在学者 9名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 8名（平成29年3月卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組 1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

イシウエヨシヒロ建築設計事務所等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
上田 茂久	公益社団法人 大阪府建築士会
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成28年度

平成29年度

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第1回 平成29年4月8日 13:30~14:50

第2回 平成28年11月5日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
構造力学	構造力学は、設計・施工実務において必須分野であり、業務の効率化のためにパソコンを活用することが必須である。パソコンを用いた構造計算の実習および建築士事務所での実務実習を行うことが目的である。梁に対する荷重計算・ラーメン構造計算・トラス構造計算のパソコン実習2名単位で建築士事務所における実務実習	素+象 s o z o u 建築設計事務所
建築設計製図Ⅱ	集会所の構造・用途を理解し機能性・コストを考慮した実務的な建築設計製図法を実習することが目的である。 あすなる夢建築 大阪府公共建築設計コンクールの設計課題である大阪府営堺新金岡2丁3番住宅の集会所の設計に関して、入賞を目指す明るいコミュニティをはぐくむ集会所を設計・製図する。2名単位で建築士事務所における実務実習	e u 建築設計 Ts'plants 一級建築士事務所

建築設計製図Ⅰ	集会所の構造・用途を理解し実務的な建築設計製図法を実習することが目的である。 あすなる夢建築 大阪府公共建築設計コンクールの設計課題である大阪府宮塚新金岡2丁3番住宅の集会所の設計に関して、入賞を目指す集会所を設計・製図する教育課程編成委員会の意見により、1年生からあすなる夢建築大阪府公共建築設計コンクールに応募させることにした。	オフィス・エヌ・キューブ
インテリアデザインⅡ	インテリアを構成するさまざまなエレメントの、実際のスケールや材料の性質、コストなどを実習を通して習得することにより、インテリアデザインの能力を高めることを目的とする。 2名単位で建築士事務所における実務実習	設計事務所GA-PLAN

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在平

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程建築デザイン科) 平成29年度				
分類	授業科目名	授業科目概要	次 年 時 業 位	授業方法

必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			CAD実習Ⅱ	3D基礎知識を習得し、3次元空間を作成します。3DCGをPhoto shop・Illustratorを使用して美しくプレゼンテーションする方法も学びます。	2	120	4	△		○
○			施設・店舗設計	さまざまな建築施設の中で、特に商業施設を取り上げ、その建築計画の基本を学びます。また、多くの事例に触れ、演習を行いながら、デザインの基礎と理論を学び、技術の習得を目指します。	2	60	2	△	△	○
○			建築設計製図Ⅰ	製図用具の正しい扱い方、図法による物体の図式、日本工業規格（JIS）にもとづく製図法の基本を学びます。トレース及び基本的な作図を通して製図の基礎を習得します。	1	240	8	△	△	○
○			建築設計製図Ⅱ	各種構造・用途の建築実例をもとに設計コンセプトのまとめ方、デザインの手法などを学びます。課題演習のエスキス、製図、プレゼンテーションを通して設計技術を養います。	2	120	4	△	△	○
○			建築計画	人間の行為と建築空間、建築と社会の関わりなどについて学習します。実際の建築設計において基礎となる各用途の建築計画の基本を修得することを目指します。	1	30	2	○		
○			建築史	日本と西洋の古代から現代までの建築の変遷の大きな流れについて学習します。建築が社会の変化といかに関わり、どのような形態をとってきたかを考察します。	1	30	2	○		
○			インテリア計画	建築の、特にその内部空間に着目し、その企画や設計・管理にかかわる基礎的知識を習得します。	1	60	4	○		△
○			環境工学	建築空間を人間にとって快適で健康的なものにするための環境（室内温度、日照、採光、騒音など）について学習します。	1	30	2	○	△	
○			建築設備	給水・排水・電気・空気調和設備などといった建築設備について学習します。	2	30	2	○		
○			照明計画	照明工学の基礎知識から、建築照明デザインの実務の流れまで、全容を俯瞰します。講義項目は、照明の基礎、光源、照明器具、照度計算、屋内・外照明などです。	2	30	2	○		

○		構造力学	建築物の構造計算の基礎を学習します。荷重の種類・部材応力の計算などです。	2	60	4	○	△	△
○		建築一般構造	建築物の構造の種類と用途、またそれぞれの構造種別の長所・短所について学習します。木構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨造などです。	1	60	4	○		
○		耐震工学	地震と地震動の関係、地震動の性質、地震による被害と対策など、耐震設計で必要となる基礎知識を修得します。動的解析法など、耐震設計の基本的な考え方を学びます。	2	30	2	○	△	
○		建築材料Ⅰ	建築物を構成する各種建築材料の特性と物性、部位ごとの要求性能と材料選定に際しての基本的事項を学びます。	1	30	2	○		
○		建築材料Ⅱ	建築材料Ⅰに引き続き、さまざまな建築材料の特性について学びます。実際のサンプルに触れたり、問題演習を行うなどして理解を深めます。	2	30	1	△	○	
○		材料実習	建築材料（木材・コンクリート・鋼材等）の各種材料試験や強度試験を行い、材料の特徴・強度について学習します。	2	60	2	△		○
○		建築積算	建築を計画するにあたり、実際にかかる費用を算出する手法について演習を交えながら学びます。	2	30	2	○	△	
○		建築施工	建築施工は、建築生産における一連の技術活動の最終段階で、設計を忠実に実現させなければならない非常に重要な技術分野です。建築工事における技術的なことや管理方法などについて学習します。	2	30	2	○		
○		建築法規	建築基準法を中心とした建築法規の基礎に関して、表や図、多くの実例写真など実用的な資料を参照しながら学習します。	1	30	2	○	△	
○		レンダリング	基本的な図法をマスターすることから始め、どのような形態の建築であっても自由自在にパースアングルを操作できる技術を身につけます。	1	60	2	△		○
○		建築論	建築デザインについて、さまざまな優れた建築事例を主に造形的に比較、分類し、考察します。デザイン手法が実際の建築でどの様に使われているか、漠然と見ていた建物がどんな手法を用いてデザインされたのかなどを理解、分析出来るようにします。	1	30	2	○		
○		図学	立体の幾何的な表現方法について学習します。製図用具の使用法・線と文字・寸法記入・三角図法などです。	1	30	1	△	○	△

○		インテリア エレメント	インテリアを構成する商品、機器、部材、資材等の構造や特性について学びます。講義項目は、間仕切と建具、ウインドトリートメント、カーペット、家具、光と照明、設備機器などです。	1	30	2	△	○	△
○		CAD 実習 I	AutoCAD を使用して、図面作成（2次元）に必要な CAD 機能を学びます。	1	60	2	△		○
○		インテリア デザイン I	建築の、特にインテリアに重点を置き、空間計画の基礎知識・基礎技法を演習と側面的な講義によって修得します。	1	60	2	○		△
○		インテリア デザイン II	それまでのインテリアに関係する講義、演習で習得したことからを、実習のテーマの中で生かし、表現することで、その専門的知識や技術を確かなものとします。	2	60	2	△	△	○
○		数学	建築の構造分野において、特に力のつりあいや静定構造物の解析計算などで使用する基本的な数学を学習します。	1	30	2	○	△	
○		コンピュー タ I (コンピ ュータ概論)	コンピュータを道具として、いかに自分の部署や自分自身のために役立てるかを考える能力を養います。講義項目は仕事とコンピュータ、基幹業務システムとの関わり、エンドユーザコンピューティング、システム環境整備と運用管理などです。	1	60	4	○		
○		家具計画	内装や家具の知識、ファニッシング、インテリアデコレーションに関して学びます。講義項目は内装の詳細、造作家具、ファニッシングのメンテナンス、人間の動作寸法と造作家具のデザインなどです。	1	30	2	○		△
○		造形演習	講義、実技演習を通して、基本デッサンについて学習します。応用段階では、さまざまな表現手法について学び、各自が持つ表現力を最大限引き出せるようにします。	1	60	2	△	○	
○		卒業制作	卒業制作では、これまでに学習してきた建築・インテリア/CAD学習の総合的なまとめとして、自分自身で設定したテーマについて制作実習を行い、全校生に対してプレゼンテーションを行います。	2	90	3	△		○
	○	緑地計画	人間と自然（環境）とが相互に依存しあっている緑地空間について学びます。講義項目は、総論、演習、造園の計画・設計、計画と設計基礎、各造園の計画・設計などです。	1	30	2	○		△
	○	絵画演習	建築デザインするためというだけにとどまらない、造形態としての人体を基本モデルとします。客観的描写を実践することによって、造形を原理的に理解しながら学びます。	1	60	2	△	○	
	○	地盤工学	地盤のみにとどまらず基礎構造まで含む工学を学びます。講義項目は地盤工学で何を学ぶか、地盤の基本性質、設計、区域その設計、側圧を受ける建造物、総合まとめなどで	2	30	2	○	△	

			す。						
○		構造解析	体積や面積のある部材の力学状態を推定するための基礎的概念とその技法の理解を目的として学びます。講義項目は連続の基礎、2次元問題、応用関数、応力関数の演習、有限要素法の基礎、有限要素法の解法、有限要素法の演習などです。	2	30	2	○	△	
○		構造計画	各種建築物の構造計画法全般にわたって学習します。講義項目は、建築構造の基本的性質・構造材料の力学的性質・創造材料の選択と計画・耐震構造の計画などです。	2	30	2	○	△	
○		コンピュータⅢ (建築 CG・建築 ADT)	情報化社会で必要とされる技術やインターネットの基礎知識を習得します。また、各自の作品を Web ページに掲載するための技術を学びます。	1	60	4	△		○
○		都市計画	現代の都市空間を理解するために、都市形成の歴史を学びます。講義項目は西洋都市建築史の概観、日本都市建設史西洋近世都市の特徴、近代市街地形成、我が国の市街地建設動向、講義の総括などです。	2	60	4	○		
○		防災工学	建築基準法の特認にみる防災性能評定や、高層・大規模建築に必要な防災計画評定などの建築防災計画について学びます。	2	30	2	○		
○		測量実習	建築物の敷地の平面測量、高低測量に関して、実技を中心に学びます。講義項目は、距離、トランシット、トラバース、平板、水準等の測量及び誤差、面積、土積です。	2	60	2	△		○
○		マーケティング	事業経営に必要な基本的知識の他、社会一般の経済の仕組みなどについて幅広く学びます。	1	30	2	○		
○		コーディネーション	インテリアエレメント中心に、顧客一人ひとりに対面して、要望を聞きとり、具体的なかたちとして提案する技法及びその知識を学びます。	2	30	1	△	○	
○		コンサルティング	コンサルティングの意味と意義、必要とされる知識や能力について幅広く学びます。	2	30	2	○		
○		プレゼンテーション	クリエイターとしての表現力を養成します。プロジェクターを使ったパソコンでの表現・スピーチ・パネル・モデリング等について学習します。	2	30	1	△		○
○		コンピュータⅡ (情報リテラシー)	Word・Excel・Power Point (Microsoft Office) を使用して、仕事で必要となる見積書・企画書やプレゼンなどを作成する技法を学びます。また、Photo shop を使用して、画像加工方法も学びます。	1	60	2	△		○

○	コンピュータⅢ（建築CG・建築ADT）	情報化社会で必要とされる技術やインターネットの基礎知識を習得します。また、各自の作品をWebページに掲載するための技術を学びます。	2	120	4	△	○
○	CG概論	情報化社会で必要とされる技術やインターネットの基礎知識を習得します。また、各自の作品をWebページに掲載するための技術を学びます。	2	60	2	△	○
○	ボランティア概論	ボランティアの概論、活動する上での必要な知識を学びます。講義項目はボランティア活動をどうとらえるか、ボランティアは何を課題にするか、住宅福祉活動のすすめかた、アクション型ボランティアの実際、ボランティア・グループの運営などです。	2	30	2	○	
○	CADシステム	設計・製図業務等に従事するにあたりCADシステムを運用・管理するために求められる知識及び関連業務動向の知識を学びます。講義項目はCADシステム概論・運用、製図の知識（第三角法・投影法など）、3DCAD基礎知識などです。	2	60	2	△	○
○	心理学・環境・色彩	「環境心理」の基本的な骨組をそれぞれ特論的に考察します。また、色彩のもつ心理的効果を活用した配色技術や色彩の調和のあり方及びその行動に関することを学びます。講義項目は環境と人体、視環境の心理学、空間と人間行動、環境の社会心理学などです。	1	60	4	○	△
○	高齢化対応リフォーム	高齢化に伴い、高齢者のための配慮がなされた一般住宅や、専用の居住施設の需要は急増しています。そのことに関することを学んでいきます。	1	60	2	○	△
○	ケアワーク概論・技術	高齢者の自立をどう援助するか、介護福祉サービスを学びます。講義項目は、介護施策の動向、介護の働き、介護を必要とする人間の理解、介護に関わる関係職種などです。	2	60	4	○	△
○	バリアフリー住宅設計	高齢社会におけるバリアフリーの概念から住宅設計、住居学を学びます。講義項目は、概論、バリアフリーの基本、住宅の計画と設計、公共建築の計画と設計、バリアフリー住宅の演習、バリアフリー公共建築設計の演習などです。	2	60	2	○	△
○	地域社会福祉論	高齢社会の社会的背景、地域の福祉や制度について学びます。講義項目は現代社会におけるコミュニティと地域福祉、地域福祉の理念とその展開、地域福祉のサービス体系、地域福祉の推進方法、地域福祉の実際、地域福祉の相談援助活動などです。	2	30	2	○	
○	福祉機器	住宅ケアの現場に見る機器の活用及び役割を学びます。講義項目は総論、移動実践編、日常生活動作実践編、入浴実践編、排泄実践編、更衣・整容実践編、寝たきり介護実践編、ADL・コミュニケーション実践編などです。	2	30	2	○	

○	福祉・建築学	在宅介護サービスの拡充と住宅環境設備を実現して行くうえで、高齢者や障害をもった人々の心身特性や、介護などの専門知識を学びます。さらに建築の知識や技術を持って、的確に対応できる技術者やコーディネーターになるための知識を習得します。	2	30	2	○		
合計			56 科目	2880 単位時間(137 単位)				